

議会だより

やまがた

83号

2024年2月1日発行

発行：山県市議会
編集：議会報編集委員会

G I K A I D A Y O R I Y A M A G A T A



▲ 子育て福祉応援フェア(マーサ21 マーサスクエア)

CONTENTS

- 第2回臨時会・第4回定例会 … P 2・3
- 常任委員会報告 …… P 3・4
- ハラスメント防止研修報告 …… P 4
- 所管事務調査報告 …… P 5

- 一般質問 …… P 6～10
- 行政視察研修報告 …… P 11
- 議会活動日誌・第1回定例会予定… P 12



議案の審議結果

第2回臨時会

11月6日

予算案件

1件

第4回定例会

11月30日～12月19日
(20日間)

条例案件

12件

予算案件

11件

その他案件

2件

意見書

1件

令和5年 第2回臨時会 予算案件

議第69号	令和5年度山県市一般会計補正予算(第5号)	可決(全会一致)
-------	-----------------------	----------

令和5年 第4回定例会 条例案件

議第70号	山県市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第71号	山県市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第72号	山県市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第78号	山県市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例について	可決(全会一致)
議第79号	山県市監査委員条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第80号	山県市一般職の任期付職員の採用等に関する条例について	可決(賛成多数)
議第81号	山県市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第82号	山県市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第83号	山県市空家等対策協議会設置条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第84号	山県市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第91号	山県市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第92号	山県市手数料条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)

予算案件

議第73号	令和5年度山県市一般会計補正予算(第6号)	可決(全会一致)
議第74号	令和5年度山県市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
議第75号	令和5年度山県市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
議第76号	令和5年度山県市水道事業会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)

議第77号	令和5年度山県市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
議第85号	令和5年度山県市一般会計補正予算(第7号)	可決(全会一致)
議第86号	令和5年度山県市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決(全会一致)
議第87号	令和5年度山県市介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決(全会一致)
議第88号	令和5年度山県市水道事業会計補正予算(第3号)	可決(全会一致)
議第89号	令和5年度山県市下水道事業会計補正予算(第3号)	可決(全会一致)
議第93号	令和5年度山県市一般会計補正予算(第8号)	可決(全会一致)

その他案件

議第90号	工事請負契約の締結について	可決(全会一致)
議第94号	工事請負契約の変更契約の締結について	可決(賛成多数)

意見書

発議第6号	森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書について	可決(全会一致)
-------	-----------------------------	----------

賛否が分かれた議案

議案番号	議決結果	松久茂	田中辰典	奥田真也	寺町祥江	加藤裕章	古川雅一	加藤義信	郷明夫	操知子	福井一徳	山崎通	吉田茂広	武藤孝成
議第80号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	○	○
議第94号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	○	○

※○は賛成、●は反対。不は不在、除は除斥、棄は棄権。なお、議長は採決には加わらない。

採決にあたっての主な討論

議第80号
山県市一般職の任期付職員
の採用等に関する条例について

反対討論

任期付職員は本条例第2条第1項より、「高度の専門的な知識経験又は優れた識見を有する者」と規定されている。これは、定年延長に伴う再雇用職員を充てることも考えられる。
現代は、情報化の進展など専門分野の人材育成が求められている。正規職員を採用し、教育研修を行いながら専門性を磨くことが、中長期の人事戦略の要になる。このことから条例制定には反対する。

議第94号
工事請負契約の変更契約
の締結について

反対討論

今回の解体工事は、別途、設計・施工管理を業務委託している。国土交通省が定める建築物解体工事共通仕様書に従えば、市が試掘調査を実施していなくても、柱、壁等が他の架構、壁等から切り離され自立した状態でないことは、解体の設計に専門に携わる会社であれば本来予測可能な範囲と考えられる。このことから変更契約の締結には反対する。

常任委員会報告

各常任委員会で、付託された議案をそれぞれ審査しました。主な質疑と審査結果は次のとおりです。

総務産業建設委員会

— その他案件

【議第94号】工事請負契約の変更契約の締結について

Q 契約を変更することは法に抵触しないのか。

A 法に抵触しない。

Q 見積積算は間違っていないか。

A 当初、地下部分

可視で壊す予定はなく、この部分は積算に入っていない。積算部分は間違っていない。

Q 平成29年(美山支所等整備検討協議会設立時)に積算したのではないか。

A 平成29年の段階で設計したということはない。

Q 落札率99.9%についてどう考えるか。

A 予定価格を公表しているため、あり得ることと認識している。

厚生文教委員会

条例案件

Q どのような経緯で契約を変更するのか。
A 地下部分の擁壁と地中ばりが連結されていたことが判明し、業者監督、市の職員、施工業者で立ち合いの上、解体すると判断した。

Q 美山支所の建設時の図面などから地下部分について分からなかったのか。
A 図面では明らかでなかった。

Q 議決されたら補正予算を計上するのか。
A 今回は、契約金額の変更の議決をお願いするもので、当初予算の範囲内で支払うため補正予算は計上しない。

Q 建物の不可視部分を把握するため、今後の対策として事前調査を行えないか。
A 費用対効果等を勘案しながら、調査を進める。

採決の結果、付託された議第78号から議第80号、議第83号、議第85号、議第90号、議第94号の7議案は全会一致で原案どおり可決すべきものと決定した。

【議第81号】
山県市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

Q 特別利用教育を提供する施設に限ると変更されているが、どういうことか。

A 認定こども園や幼稚園の範囲だけではなく、広い範囲で捉えることができ、幼稚園でありながら保育園として契約できるようになる。

【議第82号】
山県市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

Q 放課後児童支援員の現在の確保状況は。

A 通常と長期で59人。認定研修を受講している支援員は27人である。

予算案件

【議第85号】
令和5年度山県市一般会計補正予算(第7号)

Q 施設型給付費等負担金について、保育園ごとにおける未満児の入所状況は。

A 4月から11月にかけて、高富保育園は2歳児5人、1歳児5人、0歳児13人、富岡保育

園は2歳児1人、1歳児2人、0歳児6人の増加となっている。

【議第93号】
令和5年度山県市一般会計補正予算(第8号)

Q 低所得世帯支援給付金について、支給方法と支給の時期は。

A 支給方法はプッシュ型。支給の時期は、給付金システムの整備が整い次第、給付を開始する。1月末から2月上旬の予定である。

採決の結果、付託された議第81号、議第82号、議第84号から議第89号及び議第91号から議第93号までの11議案は全会一致で原案どおり可決すべきものと決定した。

ハラスメント防止研修を受講しました

11月1日(水)に、(株)ビズアップ総研の渡邊氏を講師に迎えて、執行部と合同でハラスメント防止研修を実施し、全議員が参加しました。従来からある「パワハラ」「セクハラ」のみならず、多様化するハラスメントの現状を知り、ハラスメントについての理解を深めました。その後、具体的な事例を基にハラスメントに該当するのか、しないのかをディスカッションし、ハラスメントと指導の違いなどを理解しました。誰もがハラスメントの加害者にも被害者にもなり得ることを実感し、ハラスメントのない快適な環境を作っていくことが必要だと感じました。



所管事務調査報告

総務産業建設委員会(12月8日)

(文責：田中 辰典)

東海環状山県IC西本線橋鋼上部工事



仮設の階段を幾段も上がり、地上約18mで施工中の橋梁^{りょう}上部工事を見学し、岐阜国道事務所東海環状自動車道出張所の所長から説明を受けた。現在の橋の設計は、100年使えるように作られているとのこと。実際現場にて、コンクリートで固める前の、径の大変太いたくさんの鉄筋棒が、結束され網の目になっている状態の頑丈な下地を見ることができた。また、山県ICから大野神戸IC間は令和6年度に開通予定である。工事用道路については過度に工事車両が集中しないよう西深瀬上部工五者会(連絡協議会)で交通誘導警備員の配置状況の調整を図りながら工事を進めている。また、一般車両への配慮、落下物・飛散物の防止を行い、第三者災害の防止に努めていると説明を受けた。

グリーンプラザみやま多目的交流拠点施設整備工事

地方創生拠点整備交付金事業(補助率1/2)を活用し建設中の、木造の多目的交流施設を調査。野外トイレや屋根付き多目的スペースも設けられる予定である。この施設は、観光の拠点としての基地だけでなく、移住促進等多様なイベントを行うことにより山県市の魅力発信、情報発信の基地としても活用される。また、自然の中で開催できるさまざまなイベント会場、更に併設する広場とステージとともに、結婚式会場としても利用できる。



厚生文教委員会(12月11日)

(文責：奥田 真也)

みやま保育園 ～自然体験保育の現状について～



みやま保育園は、数年の事前研修を得て、昨年度から自然体験保育を実践している。園庭では、園外保育で子どもたちが見つけた枝を使いツリーハウス作り、どろんこ遊びやブランコの支柱にロープを張ったロープワークで体を動かし、おたまじゃくしやメダカなどの生き物の飼育も行っている。園外保育では山で遊ぶことや水路での生き物探し、保育参観では親子で自然遊びを体験している。また、トゲのある実で作ったおなみダーツ、どんぐりを使った遊びなどは子どもたちが考え、先生と相談しながら作成し皆で時間を忘れて遊んでいるとのこと。森林面積が多数を占める山県市。今後更に自然体験保育を発展させていくことで、地域との関係性が深化し、子どもたちにとっても「ふるさと山県市」の愛着につながるものと大いに期待できる。

美山小学校 ～いじめ未然防止の取り組みについて～

美山小学校は、「夢・たくましさ、笑顔があふれる学校」を目指しており、令和3年度に「いじめをなくそう」キャラクター(いじめについてかんがえるくん、いじめなしこちゃん、ききょうちゃん)を作成し、校内の各所に掲示している。「笑顔いっぱい 夢いっぱい つなげよう 全校の輪」標語コンクールについては、当初は教職員が中心となっていたが、今では児童会が中心となり進めているとのこと。全ての作品を廊下に掲示しており、子どもたちの意識の高さがうかがえる。また、いじめ防止サミットや全校学活、あんしん集会などで「いじめについて考える日」を設け、全校が一緒に考えていく体制が整っている。この取り組みを通じ、子どもたち、教職員、保護者、そして地域の方々の連携により、いじめが未然に防止できる体制が整っていくことを期待したい。





福井 一徳 議員

Q-1 伊自良地区への大規模養鶏場の進出について

A 住民説明の実施と環境対策に対応した施設整備

Q-2 給食費無償化に続く、給食への有機米導入について

A 導入に向け具体的に進めていきたい

Q-3 シルバー人材センターの補助金のあり方について

A 健全な運営が維持できる補助金を交付する

Q-1 養鶏場進出に関する経緯、住民説明会の開催状況は。また、臭気対策、汚水対策、交通対応などの詳細は。

A 昨年度、事業計画者より本市や関係団体へ、養鶏場建設についての相談や計画概要の説明がなされた。住民説明会はこれまで2度開催されている。ウインドレス鶏舎や浄化槽の設置など環境対策に対応した施設整備を予定し、交通対応も今後協議していくことになる。

Q-2 学校給食への「有機米の採用」に向けた教育委員会の考え方は。また、事業化の具体的な課題は何か。

A 地産地消の延長線上に有機米が確保できるのであれば、導入について前向きな議論を進める意義があると考えている。課題として、現在使用している米より1反あたりの収量

が4割近く減少すること、耕作面積の確保が必要になることが挙げられる。また、防草や防虫に関する手間や時間を要し、さらに日本農業規格JASに則した管理が必要になる。

Q-2 有機米の導入実現に向けての市長の構想と決意は。

A 来年度から協議会を立ち上げ、具体的に給食採用に向け進めていくと同時に、若手育成の観点から地域おこし協力隊の募集も検討していきたい。

Q-3 会員数の減少や総事業契約額の減少という状況下で、補助金だけが2倍に膨らみ1260万円に至っている理由は何か。

A 補助金は、運営の基本的な部分となる事務局の人件費と管理費に充てられている。これは、職員の配置換えや定期昇給など見直しを行っての増額である。



奥田 真也 議員

Q-1 教員の負担軽減について

A 教員の子どもに向き合う時間を確保する

Q-2 公共交通の今後について

A 地域に適した運行形態を検討

Q-3 フレイル予防講座について

A 気軽に受講できるよう周知していく

Q-1 山県学園構想が動き始めていく中、今後、教員の負担軽減につながる取り組みの考えは。

A 山県学園構想の具現に向けた導入期と位置付けた今年度は、学校間の日常的な打合せの時間等が新たに必要になってきている。他校との合同授業は、今後、その成果と課題を検証し、自動化できることを明確にしていきたい。学校や教職員の事務負担を減らし、子どもに向き合う時間を確保することに努めたい。

Q-2 自主運行バス1便あたりの平均乗車人数は昨年と比べてどうか。また、市外、県外の先進的な運用のうち、有効な事例の運行形態を検討していくことの考えは。

A 昨年より乗降者が増加した路線は、山県モレラ線、美山地域デマンド型交通葛原線・乾線、市街地巡回線、ハーバス岐大病院線、ハーバス伊自良・大桑線で、現状維持が神崎山県B T線、減少した路線は、高速バス名古屋関美濃線であった。



▲フレイル予防講座の様子

また、先進事例の運用については、他市の先進的な事例等注視しながら、本市に活用できそうな場合には、運用も視野に入れ検討していく。

Q-3 健康長寿につながる「フレイル予防講座」について、現在の開催状況と今後の考えは。

A 令和5年度の開催状況は、11月末現在で開催回数6回、受講者は67人となっている。また、講座終了時に実施しているアンケート結果では、受講者のうち90%以上の方がフレイルについて理解できたと回答している。今後は、講座の様子や受講者の声なども紹介しながら、地域でのサロンや集まりなどの機会でも、気軽に受講していただけるように周知していく。

Q 「小中学校等の屋外トイレの洋式化」について

A 改修計画を立案し洋式化を推進



郷 明夫 議員

Q 小中学校の校舎のトイレは洋式化されているが、運動場の屋外トイレは昔ながらの和式が多い状況。生活様式、高齢化により、トイレの洋式化は不可欠。洋式化されているのは高富中学校、美山中学校、市総合運動場、大桜グラウンド、梅原スポーツランド、伊自良総合運動場の屋外トイレ。小学校で洋式化されている屋外トイレはない。社会教育、学校開放施設であり、災害時避難場所となっている小学校屋外トイレの洋式化を計画的に整備する必要がある。小中学校の屋外トイレの洋式化の所見は。

A 生涯学習課が管轄する社会体育施設、学校開放施設及び社会教育施設の全17施設で、屋外トイレに洋式トイレが設置してあるのは、建設当時から設置してある伊自良総合グラウンド、平成18年度以降に新築整備した高富中学校テニスコートと、大桜グラウンドの2施設。併せて、利用状況が高い梅原スポーツランドと、総合運動場の2施設は、平成28年度から29年



度にかけて屋外トイレの洋式化の改修工事をしていく。また、学校教育課が管轄する美山中学校の屋外トイレは、現校舎を新築した際の平成21年度に洋式化された。屋外トイレの洋式化については、生活様式や高齢化という背景から妥当であると考えている。生涯学習課が管轄する17施設及び学校教育課が管轄する4施設それぞれの利用頻度等を考慮しながら改修計画を立案し、必要な財源を確保した上で洋式化を推進していく。

Q-1 公共交通について

A 最適な手段での運行を検討

Q-2 がん検診について

A 今後もクーポンの利用を周知していく



田中 辰典 議員

Q-1 今後、団塊の世代がデマンドバスを利用するようになると、利用者が増えると予想されるがどう対応するか。また早朝と夕方以降の運行についての考えは。

A 地域公共交通は、その時々々の需要や地域の実情を勘案しつつ、随時適切な手段に切り替えていく必要がある。

美山地域デマンド型交通も、利用状況を踏まえつつ適宜手段を変更していくことが望ましいと考えており、利用者が増える場合には、定時定路線型への切り替え等も含め、最適な手段での運行を検討していきたい。

現在の美山地域デマンド型交通は、岐北線が運行していない平日の昼間帯を交通空白地として自家用有償旅客運送の登録を受け運行している。岐北線が運行している早朝と夕方以降に運行しようとする、どちらかの運行形態を選択する必要がある。

美山地域の岐北線は幹線として重要であり、岐北線を存続する必要があると考えている。



▲デマンドバス

め、現在のところ美山地域デマンド型交通の早朝と夕方以降の運行は考えていない。

Q-2 がんを早期発見できるような取り組みとして、本市では今年から40歳、45歳、50歳、55歳の人にがん検診無料クーポンを配布している。無料クーポンの市民の利用状況はどのようなか。また、どのように周知しているか。

A 無料クーポンの10月末現在の利用者数は、胃がん検診64人、大腸がん検診97人、肺がん検診87人、乳がん検診71人、子宮頸がん検診75人である。周知については、5月に受診票を送付した際に同封した案内に記載したほか、広報やまがた5月号と市ホームページに掲載している。



Q-1 環境教育の推進について

A 地域住民が先生として、子どもの学びをサポートする

Q-2 脱炭素社会の実現に向けて

A 市内に再エネを導入し地産地消を目指す

※ZEB化：ZEBエネルギー負荷の抑制や効率的な設備の導入により、室内環境の質を維持し、省エネルギー化を実現すること。



加藤 裕章 議員

Q-1 環境教育の取り組み状況は。「生きる力」を育むため、地域の人や専門的な知識を持った人と連携を深めた学びの場を、学校内外で提供していく考えは。

A 現在、社会科で廃棄物の処理や節水の意義、理科で環境保護について学習している。また、教育委員会では、実体験を重視した学習を通して、実社会のさまざまな問題を考える足場となる経験知を持たせるための事業を進めている。

今後、下校時間までは学校の先生が、それ以降は地域住民が地域の先生として、子どもの学びをサポートするという新たな仕組みの構築を構想している。地域にあるさまざまな教育プログラムを、放課後の学校で、希望に応じて選択できるという教育サービスの提供について、具体的に検討を始めている。



Q-2 脱炭素社会の実現に向けた取り組み状況と今後の方針は。

A カーボン・マイナス・シティ宣言を行い、環境省の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金重点対策加速化事業に採択され、令和10年度までの事業計画認定を受けた。令和6年度は、美山支所改築に伴い※ZEB化を目指しており、今後、公共施設等に太陽光発電設備や高効率機器の導入、公用車のEV切り替えなどを計画していく。また、個人や民間事業者に対して補助金事業を行う予定。

Q-2 再生可能エネルギーの推進について、将来的に発電した電力を市内の施設に供給し、エネルギーの地産地消を進めていく考えは。

A 現時点では、太陽光発電設備導入が最も有効な再エネ推進であるため、脱炭素事業を契機にエネルギーの地産地消の仕組みを構築し、地域経済の活性化となるよう取り組んでいきたい。



操 知子 議員

Q クマによる人身被害を未然に防ぐための対策は

A 市ホームページや屋外拡声器等による注意喚起の徹底

一般質問

Q クマによる人身被害は深刻さを増し、国においてはクマ緊急出沒対応事業として生息状況調査や捕獲、柿など放棄果樹等の伐採計画策定などが実施されている。クマの出沒はブナ・ミズナラ・コナラの豊凶が影響を与えるとされるが、今年度は特に市への影響が出やすい本巣市根尾大河原の予測調査地点でもブナ大凶作・ミズナラ凶作であり、神崎・片原・葛原八月・富永・中洞・高木・梅原・桜尾の地内において計8件の目撃情報があった。

① 市民への周知方法は。

② 次期山県市鳥獣被害防止計画における指定は。

③ 迅速な対応が必要な冬眠期までの期間と、それ以降における柿の木の伐採計画は。

④ 登山・散策ルートにおいて市民や観光客の命を守るには、災害発生又は発生しようとしている場合、人の生命又は身体に対する危険防止のため市町村長の権限で立ち入り禁止を命ずることができる、災害対策基本法「63条に基づき、入山規制を検討す

ることが必要であると考える。クマ出沒の確実な映像がある場合などを含め、登山・散策ルートにおける入山規制を行うべき状況は。

A ① 引き続き、市ホームページでクマの出沒に関する注意喚起を行うとともに、目撃情報には対象地域に対し、屋外拡声器で周知を徹底させたい。

② 対策鳥獣としての指定については、県からの指導をいただきながら次期計画に記載するか考えていきたい。

③ 引き続き、市ホームページでクマを人里に近づけない対策として、利用していない栗や柿の木を所有している人へ伐採を促していきたい。

④ 一般的に山中にはクマが生息しており、出沒に対する注意看板の設置や注意喚起の周知も行っている。今後、クマが出沒した状況であっても現段階において入山規制は考えていない。

Q-1 市営住宅入居に関する保証人規定について

A 入居を妨げないよう保証人規定の見直しを進める

Q-2 森林整備について

A 森林整備推進のため林業事業体への支援を充実



加藤 義信 議員

Q-1 市営住宅に入居の際に保証人を見つけることが難しく、入居の妨げになることが課題となっている。時代に即した対応が求められており、条例を見直す時期に来ていると考える。市営住宅入居に関する保証人規定の削除についての考えは。

A 本市では、市営住宅入居の際に諸条件を有した連帯保証人を求めているが、保証人確保が入居の妨げとならないよう保証人の取り扱いを考えていく必要がある。一方で、保証人規定廃止による家賃収納への影響が懸念されることも否めない。昨今の社会的情勢を踏まえ、県内の他自治体を参考にし、保証人に代わる緊急連絡先を求めるなどの対応を行っていく。その上で保証人規定を廃止し、住宅困窮者に対して適切に市営住宅を供給できるよう進める。



Q-2 山県市は森林が面積の84%を占めている。森林環境譲与税による「森林経営管理制度」は、手入れが十分に行き届いていない私有林を所有者に代わり、市の関与により森林整備を行うものである。森林所有者に対する意向調査をどのように優先順位を定め推進するのか。また、森林の事業展開の考えは。

A 森林の占める面積割合が低く、また放置された里山林が多く市が積極的に推進策を講じなければ林業生産活動の進展が期待できない高富、伊自良地域を優先する。その後は森林率が高く、林業生産活動が盛んな美山地域に着手し、森林整備を進めていきたい。また、県の補助事業や森林環境譲与税を財源とした市単独事業を各林業事業体がうまく活用し、森林整備を推進できるよう林業事業体への支援を含め、情報提供や助言を行っていく。

Q 線状降水帯等による豪雨災害対策について

A ソフト面に加え、ハード面でも対策していく



松久 茂 議員

Q 「地球温暖化が進むと、国内の線状降水帯の発生1.6倍」と題した新聞記事から、今後洪水災害の危険度が高まることが考えられる。桜尾地域では、昭和51年9月豪雨で床上浸水等の近年最大規模の災害が発生した。その後の対策として、鳥羽川河川改修が富岡橋下流部付近まで進んでいる。また、平成2年や令和5年にも床上浸水や道路冠水が発生した。被災者の思いを察し、災害低減が重要であると考えます。

① 洪水災害のソフト面の対策は。

② 椎倉川合流点までの鳥羽川河川改修の早期完成は。

③ 桜尾地域冠水等の災害の減災対策は。

式LINE(「コミュニケーション」)とも連携している。登録者を増やし、多くの市民に活用してもらいたい。早めの準備や情報発信に心掛け、防災減災対策に努めていきたい。

② 早期に暫定改修を完了することが必要であり、県に対して、改訂に向けた検討が進められている岐阜県新五流域総合治水対策プランにおける鳥羽川の次期短期整備目標区間を椎倉川合流点まで延伸することを要望する。

③ 冠水等のリスクや被害の低減などを目的に、鳥羽川と椎倉川合流点にある水門の遠方監視操作化や、地区内排水路改修工事を実施中である。ソフト面に加えて、このような減災の観点でのハード面の対策を行うことでも、地域住民の安心安全な暮らしを守ることに繋がると考える。

① ソフト面の対策では、状況把握のための情報が重要である。山県市気象観測システムでは、市内の雨量や河川の水位情報などを確認できる。情報配信サービスでは、防災情報や気象情報などをメール配信でき、市ホームページや、本市の公



Q 中学生の服装について

A 生徒の声を反映させ、見直しを図る

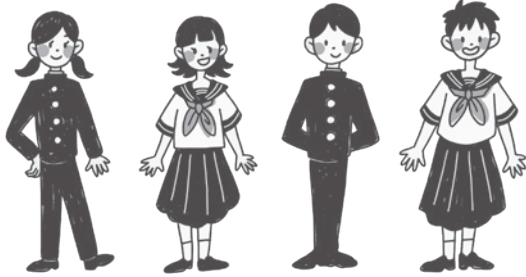


古川 雅一 議員

Q 現在の市内3中学校の登下校時も含めた服装は、3中学校の登下校を含めた服装は、制服を基本としているが、天候や健康状態等に合わせて、体操服の利用や防寒着等の着用を認めている。

Q 時代の流れとともに、制服の在り方も考えていかなければいけないと感じるが、その見解は。

A 制服の変更と着用の選択については、市内3中学校では、2年ほど前から生徒会が中心となり校則の改正が行われている。靴下の色や通学用の靴などは、生徒の選択の幅が広がっている。ポロシャツの導入や制服のブレザー化などの意見も出ている。教育委員会では、山県学園という一つの学校というコンセプトを打ち出しているため、3校の生徒たちが意見交流し、合同授業や学校行事を行っている。それらに限らず、校則や制服などについても、自分たちの問題として改善していく教材としていいのではないかと考える。今年度中に、中学校長会とも具体的に



意見交換していく。

Q LGB T Q (性的少数者)への制服の対応は。

A 学校はLGB T Qに限らず、個別の配慮事項については、本人や保護者の意向に沿って対応することが原則であり、適切に対応していると認識している。制服の選択制という方法は生徒のストレスを減らし、お互いに多様性を受け入れていくという姿勢にもつながると考える。今後の制服の議論の際の重要な要因になると捉えている。



寺町 祥江 議員

【清流会・代表質問】

Q 令和6年度予算に向けて

A 未来に向け持続可能な力強い地域社会の構築

Q 今年で市政20周年という節目を迎えた山県市。新たなステージへと向かう令和6年度予算に向けた基本的な考え方は。

A 令和6年度の予算は、未来に向け持続可能な力強い地域社会を構築するための新たな一歩の年と考えており、①こどもと未来を結ぶ多様性のある社会実現、②健康寿命の延伸と高齢者の活躍、③未来を見据えた力強く豊かなまちづくり、④社会の変革を好機に変えるGX・DXの推進の4つの視点を重点事項に設定し予算編成を進めていく。

4つの視点はどれも重要であり、それぞれが絡み合うことで、施策の相乗効果を高めることができるかと考えている。

限られた財源の中であっても全職員が一丸となってアイデアを出し合い、市民が将来にわたって安心して生活できるまち、多くの人が山県市に住んでみたいと感じていただくための予算編成としていく考えである。

Q 国が今年度補正予算を計上した「1カ月児」「5歳児」に対する健康診査の考えは。

A 1カ月児健診、5歳児健診は、それぞれが有効な事業であると捉えており、医療機関での対応、県の事務的支援など各関係機関との体制が整備されたのちに支援の検討を進めていく考えである。

Q 子どもに対する支援に従事する体制の整備は。

A 今年度からプレオープンしているこどもサポートセンターと、来年度開設予定のこども家庭センターの機能を合わせながら、両センターが同一施設にあることを最大のメリットと捉え、子どもの「個」に応じた支援体制を構築していく。

Q 市民活動に対する支援は。

A 持続可能なまちを目指していくため、今までの支援をどのように変化させていくべきかを慎重に見極めて、検討を進めていく。

行政視察研修報告

11月13日、15日

【東京都武蔵野市、岩手県一関市、宮城県栗原市、宮城県仙台市へ視察】
(文責：奥田 真也)

武蔵野クリーンセンター

【東京都武蔵野市 人口：約14万8千人】

「まちに溶け込み、まちにつながる武蔵野クリーンセンター」を目指しており、市役所、総合体育館が隣という市街地の中に建設されている。そのため、環境や景観に配慮した造りとなっており、外観は武蔵野の雑木林をイメージしたデザインであり、美術館・博物館と

間違えてしまうような建物となっている。ここでは、ゴミを焼却するエネルギーを利用して発電し、市役所など周辺の公共施設と市立18小中学校に電気を供給している。蒸気を利用して総合体育館の温水プールを温め、地域全体のCO₂削減を目指している。また隣には「武



蔵野エコーズート」があり、ゴミをはじめとするさまざまな環境について一緒に考え、行動・活動するための施設があり、市民が参加し学べる機会を提供している。

UBE三菱セメント株式会社 岩手工場

【岩手県一関市 人口：約11万2千人】



石灰石は、施設の目の前にある山から採掘され、ベルトコンベアを利用して原料工程原料を調合し、乾燥、粉砕し原料粉末を造る工程へ搬送される。その後、焼成工程(原料粉末を加熱、焼成してセメント鉱物に化学変化させる工程、仕上

工程石膏を調合・粉砕しセメントにする工程の順に行われている。下水汚泥や有機系廃棄物、廃タイヤ、廃プラスチック、廃液などを、石灰や石膏などと焼成行程において原料と混ぜながら各種セメントを製造している。東日本大震災の際には、ガラスくずやコンクリートくず、紙くず、汚泥などの災害ゴミも受け入れ、災害復興に大いに貢献したとのことである。

有限会社築館クリーンセンター

【宮城県栗原市 人口：約6万3千人】

受け入れる廃棄物は、産業廃棄物13種類、特別管理産業廃棄物4種類、特定有害産業廃棄物4種類と一般廃棄物というさまざまな廃棄物であり、安全に処理ができる施設となっている。感染性廃棄物やドラム缶入り廃棄物も処理ができる施設であり、遠方からも運び込

まれるとのこと。燃え殻やばいじんは不溶化処理を行い、土木資材などはマテリアルリサイクルを実施。焼却炉の冷却の際に発生する温水や蒸気を、シイタケやコーヒーの木、バナナなどの温室ハウスに提供し、農業の活性化に寄与するサーマルリサイクルを実施。リ



サイクルの施設においても、東日本大震災に被害が及ぶ処理を行い、災害からの復興に大いに貢献している。

J&T環境株式会社 仙台事業本部

【宮城県仙台市 人口：約109万8千人】



仙台市は令和5年4月から製品プラスチックの分別回収をスタートさせた。全戸にチラシを配布し周知している。この施設では、プラスチック再生処理を一貫して行っており、プラスチック包装、硬質PE・PP容器、PET容器・PS容器などそれぞれ選別しながらリサイクルをしている。

その工程の中には人力で選別するコンベアも活用していた。ここでリサイクルされたプラスチックは、プラスチックパレットなどに生まれ変わり販売されている。これ以外にも、蛍光粉に含まれる水銀まで適正処理をする蛍光灯リサイクル施設、未開封のまま段ボールごと機密抹消をすることが可能な機密文書処理施設があり、それと同時にさまざまな種類の乾電池もリサイクルしている。

今回、視察した4カ所は全てにおいて環境に配慮し資源の再生利用に貢献している。いつ起きるか分からない災害に対応ができる体制の構築と、市民にとって一番いい方法を今後も調査・研究しながら目の前に迫る課題に対し検討していきたい。



議会活動日誌

10月

- 1日(日) 市ふるさと栗まつり 2023
- 2日(月) 県浄化槽連合会大会「デジタル」
- 16日(月) 令和5年第2回岐阜地域児童発達支援センター組合議会定例会
- 17日(火) 議会報編集委員会
- 25日(水) 第18回全国市議会議長会研究フォーラムin北九州
- 26日(木)
- 27日(金) 議会改革及びICT検討特別委員会
- 30日(月) 議会運営委員会



11月

- 1日(水) 議員協議会
ハラスメント防止研修
- 2日(木) 市戦没者追悼式
- 5日(日) 第21回やまがた社会福祉大会
- 6日(月) 第2回臨時会
議員活動適正化特別委員会
- 7日(火) 地方自治連絡協議会
- 13日(月) 行政視察研修
- 15日(水)
- 18日(土) 第11回「家族のきずな」エッセイ表彰式
- 22日(水) 議会運営委員会
- 27日(月) 全員協議会
議会改革及びICT検討特別委員会
- 30日(木) 第4回定例会本会議(開会)

12月

- 2日(土) ハタチの山県市記念式典
- 4日(月) 議会運営委員会
- 6日(水) 本会議(質疑)
議会報編集委員会
- 8日(金) 総務産業建設委員会
- 9日(土) 市青少年育成推進大会・PTA連合会研究大会合同大会
- 11日(月) 厚生文教委員会
- 14日(木) 本会議(一般質問)
- 15日(金) 本会議(一般質問)
議員活動適正化特別委員会
- 19日(火) 議会運営委員会
本会議(委員長報告・質疑・討論・採決)
議員協議会
- 28日(木) 消防年末夜警出発式

テレビ放映のお知らせ

令和6年第1回(3月)定例会 本会議の提案説明と一般質問をチャンネル長良川で放送します。

3月29日(金) 12時～ CCN12
3月31日(日) 17時～ CCN12(サブチャンネル)

市ホームページで各議員の一般質問の開始時間を公開します。
(放送日の2, 3日前に公開予定)

市図書館で定例会本会議の提案説明と一般質問が閲覧できます。
※令和5年第2回(6月)定例会から閲覧可。

編集後記

暦の上では、2月4日は立春で、春が始まる日と言われています。しかしながら、まだまだ寒さも厳しい日が続いています。そんな日は、こたつに入って暖まりながら議会報を読んで頂き、議会に少しでも関心を持って頂ければ幸いです。結びにあたり、皆様の益々のご健勝、ご活躍を心より祈念申し上げます。

能登半島地震により、お亡くなりになられた方々に深く哀悼の意を表すとともに、被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。

編集委員

【委員長】加藤 義信
【副委員長】加藤 裕章
【委員】操 知子
古川 雅一
松久 茂

令和6年第1回(3月)議会定例会予定

- 2月 28日(水) 本会議(提案説明)
- 3月 7日(木) 本会議(質疑)
- 11日(月) 総務産業建設委員会
- 12日(火) 厚生文教委員会
- 15日(金) 本会議(一般質問)
- 18日(月) 本会議(一般質問)
- 22日(金) 本会議(委員長報告・質疑・討論・採決)

※会議は、原則午前10時から開会します。
※傍聴を希望する場合は、傍聴受付で傍聴券を受け取り、入場してください。
※日程を変更することもありますので、事前に議会事務局(22-6840)に問い合わせてください。



市ホームページ(山県市議会)にアクセスできます。

山県市議会

検索